

コロナリスクの類型 (20200403 JAC発行「新型コロナウイルス感染拡大に伴うリスク対応 Ver.3」より)

	説明	回避のために可能な努力
①人命リスク	a. 感染リスク(内部/外部スタッフの) b. クラスター発生リスク(社内/社外就労場所での)	①②a③a共通 ・安全配慮義務履行による回避努力(「3密」徹底回避は必須) ※完全なリスク回避は不可能[無症状の感染者による感染拡大の可能性] ・「3密」を満たす企画・演出は実施しない(大人数や高唱がある等)
②責任リスク	◆現場業務の性質自体に不可避な「責任」に繋がるリスクが内在し、「補償」も問題となる a. 業務特性リスク [設備]スタジオや会議室の特性上「3密」のうち「密閉」はそもそも避け難い [食事]長時間の現場業務ではスタッフへの食事提供は避け難い [調達]安全衛生用品枯渇の状況下では十全な対策の為の調達が困難 b. 補償リスク(内部/外部スタッフの/外注先設備への) 感染・クラスター発生において、制作業務実施が明らかにその原因となり、さらに著しい安全配慮義務の欠如が証明された場合に発生する可能性	②a : [設備]定期的な換気 [食事]「個別・密閉性」 [調達]参加者自弁 ②b : 事前に補償について関係者と書面で取り決める 参加者「同意書」、得意先「確認書」を事前にもらう事も検討 ③a : ・○人以上のロケ・ロケハンを実施しない ・人目につかない環境の業務でも、「明らかに無理がある」等、参加者に納得されない業務は実施しない ③b : 企画コンテ、演出コンテ、撮影、編集チェックを厳密に実施
③風評リスク	◆現状の社会通念上問題となる業務実施の事実が喧伝された場合に発生する可能性 a. 実施上のリスク : 感染拡大を顧みず実施強行した業務について、第三者による書き込み・映像UP等で情報が流布した場合 b. 表現上のリスク : 自粛すべき企画内容のまま発信した場合	
④納品リスク	◆感染拡大に起因する不可抗力の外的要因によるリスク(突発的発生もある) ex. 出演者やスタッフの突然のキャンセル・参加不能、スタジオやロケ地など施設の突然の閉鎖など	・代替手法を事前に検討し共有しておく(場合により代替実施も不可能に) ・安全対策が納期遅延要因となる場合は予めスケジュールに反映させておく(安全配慮努力は必ずしも納品リスク回避策とならない)
⑤予算リスク	◆感染拡大に起因する不可抗力の外的要因によるリスク(突発的発生もある) ex. 出演者やスタッフの突然のキャンセル・参加不能、スタジオやロケ地など施設の突然の閉鎖など	・代替手法を事前に検討し共有しておく(場合により代替実施も不可能に) ・安全対策が予算増大要因となる場合は予め予算に反映させておく(安全配慮努力は必ずしも予算リスク回避策とならない)
備考	※制作上の努力だけでは、上記リスクを回避することはできません。 ※制作会社個々の「業績リスク」も上記とは別に考慮すべき問題です。	